

1月19日に開催した定例会で話し合われた内容と来月のまちづくり協議会の活動を以下にまとめています。

① 商業部会からの活動報告

- ・仮換地の計画が決まらなると商店街づくりに向けて進めない。
- ・土地を持たない店主も商店街づくりに参加できるようにしたい。
 - ・商店再開は、できる限り自己資金を有効に使いたい。
 - ・施工後、すぐにでも商店街再開に取り掛かれるようにしたい。
- ・商店街だけでなく、鹿折地区の商業地全体を計画できるようにしたい。
 - ・住まいと店舗を同じ場所（職住一体）に希望している人も多い
 - ・後継者のいない人も半数以上いる現状

② 提言書（案）の今後の取り扱いについて

- ・まちづくり協議会作成の提言書（案）を市・URへ提出し協議を進める。
- ・提言内容を市・URに見ていただき、実現に向けての検討・考え方を聞く。
- ・2月末に向けて、正式な提言書の提出に向けて、継続的に内容を議論する。

③ 今後のまちづくり協議会の活動

- ・2月11日に視察研修会を実施 視察先：ISINOMAKI 2.0（石巻市で活動するまちづくり団体）
- ・2月21日に鹿折中学校の学生（生徒会執行部）と意見交換会を実施
- ・次回のまちづくりサロン・定例会で、神戸の区画整理経験者と意見交換会

鹿折まちづくりサロンのお知らせ

開催日時：毎月第3日曜日（次回は2月16日です）

午前10：00～12：00（時間内で都合の良い時に来ていただいで大丈夫です）

開催場所：鹿折まちづくり協議会事務所
（鹿折復幸マルシェB棟2階の中央の部屋）

次回のまちづくりサロンの内容

神戸から阪神淡路大震災の際に区画整理事業に携わった方を講師にお招きし、意見交換を行う予定です。

鹿折まちづくり協議会

まちづくり通信 vol.11

2014年
1月19日
開催分

制作・発行 鹿折地区まちづくり協議会

この「通信」は、1月行われた鹿折まちづくり協議会の活動内容をまとめ、鹿折地区に住む住民の方々や被災して、地元を離れて暮らす方々に知っていただくため、発行しています。

【鹿折まちづくり協議会 定例会の概要】

2014年1月19日に鹿折まちづくり協議会主催「定例会」が鹿折公民館で開催されました。はじめに会長から開会の挨拶がありました。

当日の会では、まちづくり協議会役員・アドバイザーとともに、鹿折まちづくり協議会でまとめた、鹿折地区のまちづくり提言書（案）の内容について協議をおこないました。また、UR都市機構の方々も参加され、鹿折地区に関する復興整備事業の進捗状況等を説明して頂きました。

まちづくり協議会事務局から今まで行われた定例会及び住民参加の意見交換会（まちづくりサロン等）で話し合われた中で出された意見・提案を整理し、提言書案としてまとめた内容（2～3項参照）について説明されました。その後に提言書（案）の内容について役員の方々に協議し、提案内容の追加と気仙沼市役所・UR都市機構への提言書提出のスケジュールが確認されました。

会の後半では、UR都市機構からも復興整備事業に関する工事のお願い・進捗状況が報告され、ダンプ運行8時開始について協議会として了承し、協議会内で共有されました。

- 日時 2014年1月19日（日）
13時30分～15時30分
- 場所 鹿折公民館（鹿折小学校）
- 参加者 19名
 - 協議会役員 11名
 - 市議会議員 1名
 - UR都市機構 1名
 - アドバイザー 1名
 - オブザーバー 2名
 - 運営サポーター 2名
 - 協議会事務局員 1名



* UR都市機構からの復興整備に関する報告 *

- ・復興まちづくり事業者エントリー制度を活用し、土地活用のマッチングをおこなっている。
- ・復興整備事業の進捗状況について、ダンプの運行量が事業の進み具合を左右している。現在、ダンプの運行開始時間は8：30であるが、開始時間を早めたいと考えている。
- ・子どもたちの通学路への安全を確保した上で、8：00から開始したい。
- ・8：00から8：15の通学時間は、警備配置を強化し、安全を確保する考えである。
- ・まちづくり情報館がオープン（1月24日より）。区画整理事業の情報を展示する予定
- ・県道の迂回道路の開通は2月14日の予定
- ・現在、試験盛土をおこなっている。土を5m盛り、時間経過に伴う沈下の様子を試験中。試験結果をもとに、今後の盛土工事を円滑に行えるように進めている。

① 地域資源を活用した復興整備

- ・鹿折川における河川堤防整備について、地域の憩いの場所・景観に配慮した整備計画を図りたい
- ・鹿折川の景観づくりとして、河川に沿って桜並木の整備を検討したい
- ・海・川の周辺に遊歩道の計画を検討したい
- ・緑あふれるまち並みを目指すために、緑地帯及び公園の整備計画の検討を図りたい



⑤ 公共・公益施設の整備計画について

- ・安全で快適に地域内で暮らしていくために、生活基盤を支える公共・公益施設機能の充実に図りたい
- ・福祉医療施設、屯所・消防署等の公共施設に関する整備計画を見直し、地域に見合った諸施設を検討したい
- ・利用者に配慮した整備計画を検討する上で、公共施設の集約化を図りたい
- ・子どもが安全に遊ぶ・学ぶ環境づくりを目指すために子育て支援施設の検討を図りたい



② 商業施設に対する将来イメージと要望

- ・商業施設、商店街の利便性を高めるために集約を図り、利用者に配慮した整備を要望する
- ・歩行利用者に配慮した商店街づくり（歩車分離の計画）
- ・雇用創出の場となる環境づくりを図りたい
- ・地域住民が気軽に立ち寄れる場所として、コミュニティスペース・小広場の整備計画を図りたい
- ・災害公営住宅及び公民館等の整備計画に合わせた地域の商業施設整備の早期実現を図りたい



⑥ 震災の教訓・記憶を後世に伝える空間づくり

- ・震災の教訓や体験を地域内外に情報発信する震災資料体験館等の施設の整備を検討したい
- ・後世に震災の教訓を伝えるために、共徳丸のモニュメントを制作・設置を検討したい



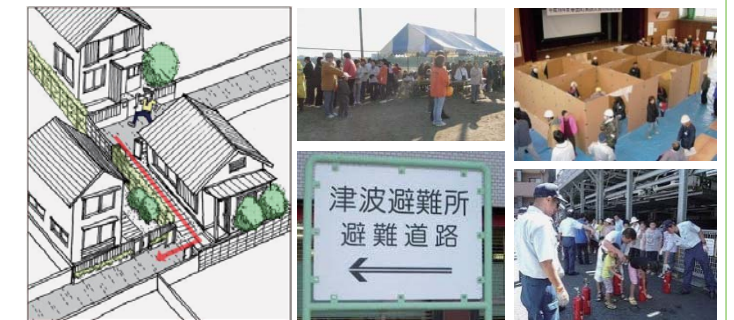
③ 地域における集客・娯楽施設の検討

- ・地域住民が楽しめるスポーツ施設（グラウンド整備）の整備計画の検討を図りたい
- ・地域外からの集客を呼び込むための商業・娯楽施設等を集約した複合施設の計画を検討したい
- ・水産加工エリアとも連携を図れる、集客施設（道の駅）を検討し、まちを訪れる観光利用者の促進を図りたい



⑦ 災害時に備えた避難計画・減災まちづくり活動

- ・徒歩での避難方法についての計画を検討したい
- ・低地ゾーンにおける避難計画（避難場所）の詳細を把握した上で、災害時に備えた避難方法を検討したい
- ・高台への速やかな避難経路の確保するために、まちの東西の軸を強化し、避難道の計画を図りたい
- ・緊急避難場所の指定などの防災計画を図りたい



④ 緑豊かで憩いの場がある災害公営住宅の整備

- ・災害公営住宅の最上階を避難場所として活用できるように計画を検討したい
- ・公営住宅地内のコミュニティ形成を図るための集会所施設及び中庭（小広場）の計画を検討したい
- ・周辺環境に配慮した公営住宅整備を行うため、植栽計画や建物等のまち並みづくりを検討したい



⑧ まちづくりの参加・仕組みづくり

- ・まちづくり組織の強化を図る。将来のまちづくりの担い手づくりを図りたい
- ・地域で活動する団体・組織との連携・体制づくりを図るとともに自発的なまちづくり活動（各部会）を展開させたい
- ・若者の意見をより多く取り入れながら、将来のまちづくりビジョンを検討したい
- ・鹿折地区全体で議論を重ねられる場を継続的に設け、将来のまちづくりを検討していきたい

以上の8つの提案・要望内容について、市役所・UR都市機構の考え方を聞いた上で、鹿折まちづくり協議会として、提案実現に向けた検討・活動を進めたいと考える。また、今後も継続的な議論を重ね、「安全快適で活力あふれる楽しく住みよいまちづくり」を推進させるとともに、地域住民が望む、まちづくり像を提言したい。